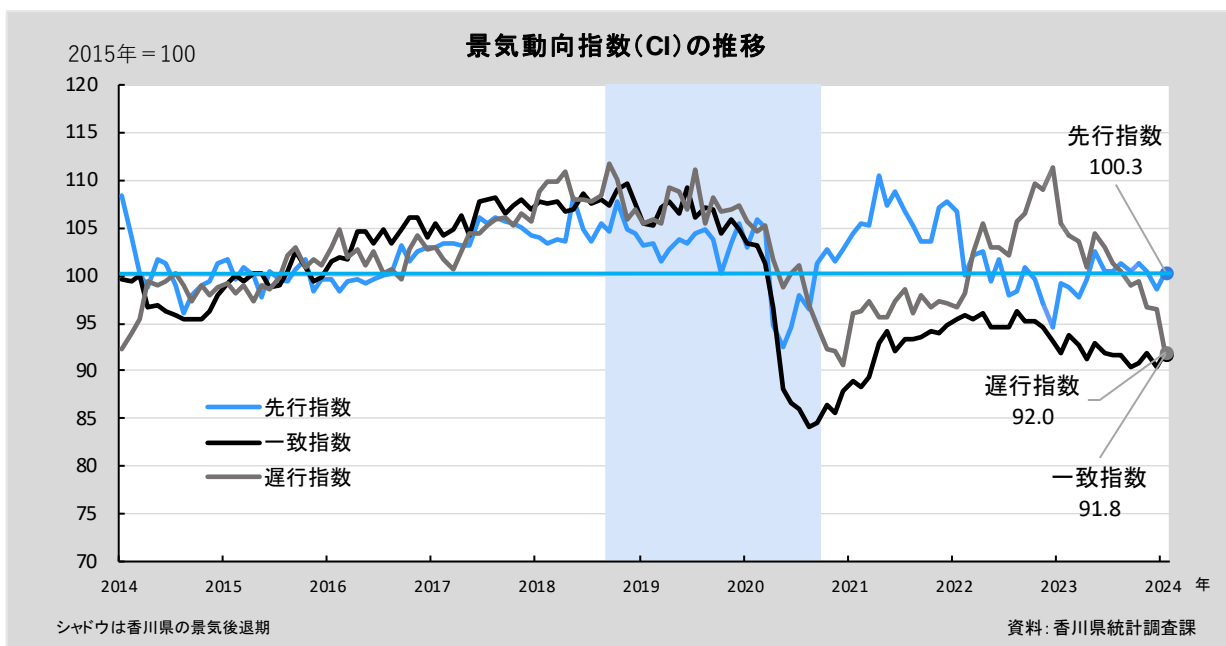


概況	景気は、持ち直している。
個人消費	持ち直しの動きが続いている。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに足踏みがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 2カ月ぶり上昇



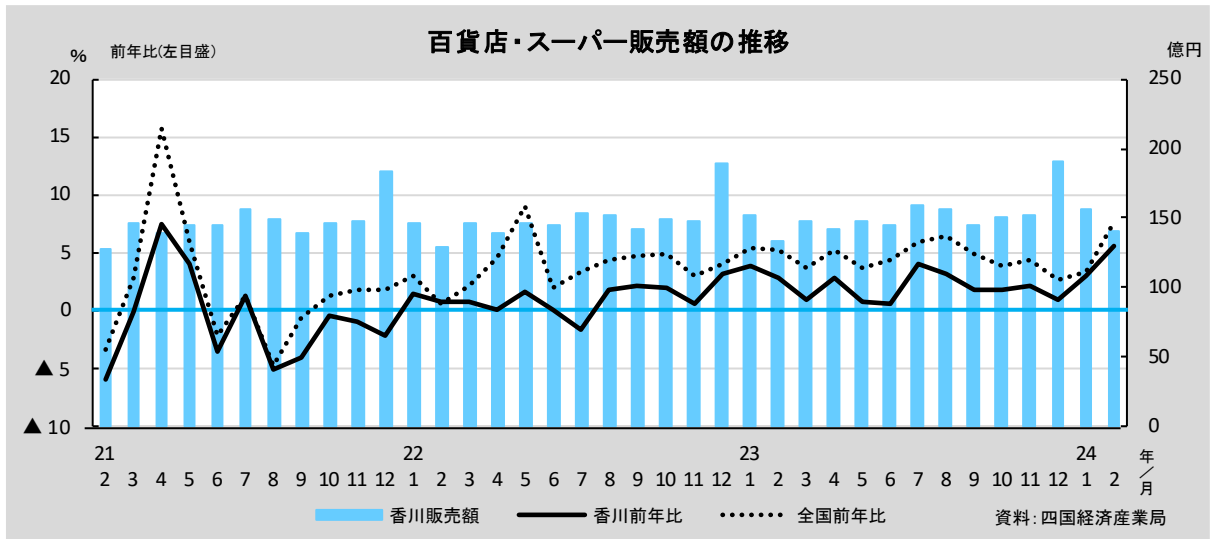
景気の現状をみると、1月のCI一致指数は91.8（前月比+1.5ポイント）と2カ月ぶりに上昇。CI先行指数は100.3（同+1.7ポイント）と3カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は92.0（同▲4.5ポイント）と3カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、百貨店・スーパー既存店販売額、雇用保険受給者実人員等が上昇に寄与したことにより、前月から1.5ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	0.75	1 雇用保険受給者実人員	0.27	1 常用雇用指数	▲ 2.02
	2 乗用車新車登録台数	▲ 1.06	2 有効求人倍率	▲ 0.13	2 有効求職者数	▲ 0.59
	3 鉱工業在庫率指数	1.85	3 所定外労働時間指数	1.21	3 消費者物価指数	▲ 0.41
	4 生産財生産指数	▲ 0.67	4 鉱工業生産指数	▲ 0.40	4 家計消費支出	▲ 0.38
	5 新設住宅着工戸数	0.88	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.05	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.21
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.17	6 建築着工床面積	0.25	6 法人事業税調定額	0.93
	7 消費者態度指数	0.39	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.37	7 第3次産業活動指数	▲ 1.70

●百貨店・スーパー販売額

19 カ月連続増加 ↑

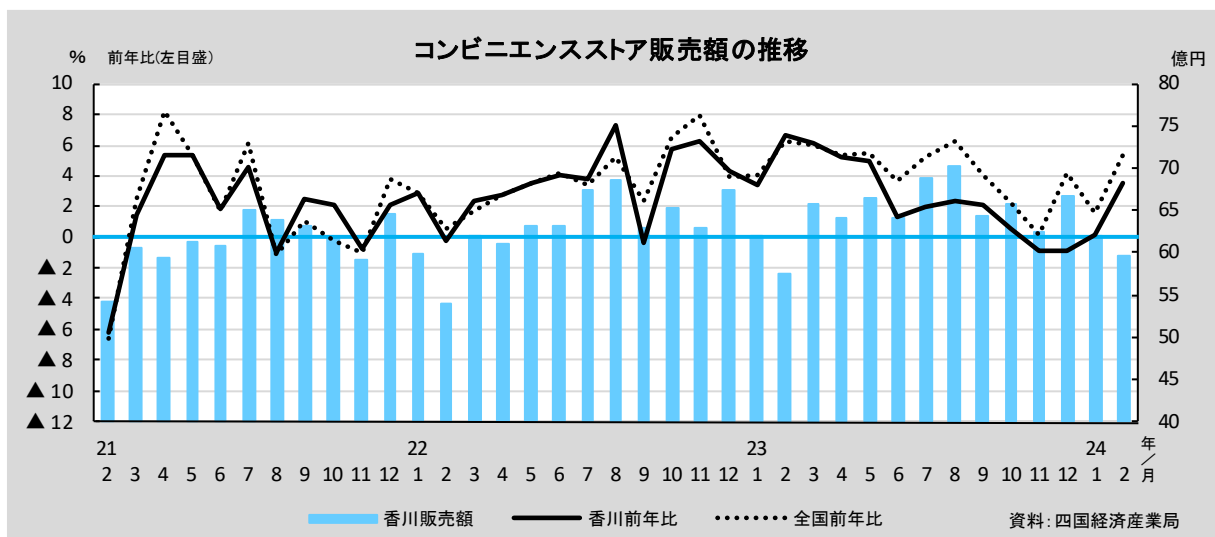


2024/2月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	84,562	59,027	1,065,747	1,562	4,016	59,763	126,150	504	1,401,331
前年同月比(%)	▲ 0.7	10.1	7.0	44.1	▲ 15.5	▲ 1.2	▲ 0.5	24.4	5.5

2月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は140.1億円で、前年同月比+5.5%と19カ月連続で増加した。「飲食料品」は、季節関連商品などの売上が伸び同+7.0%、「身の回り品」も同10.1%と好調だった。「衣料品」は春物衣料の動きが鈍く同▲0.7%となった。

●コンビニエンスストア販売額

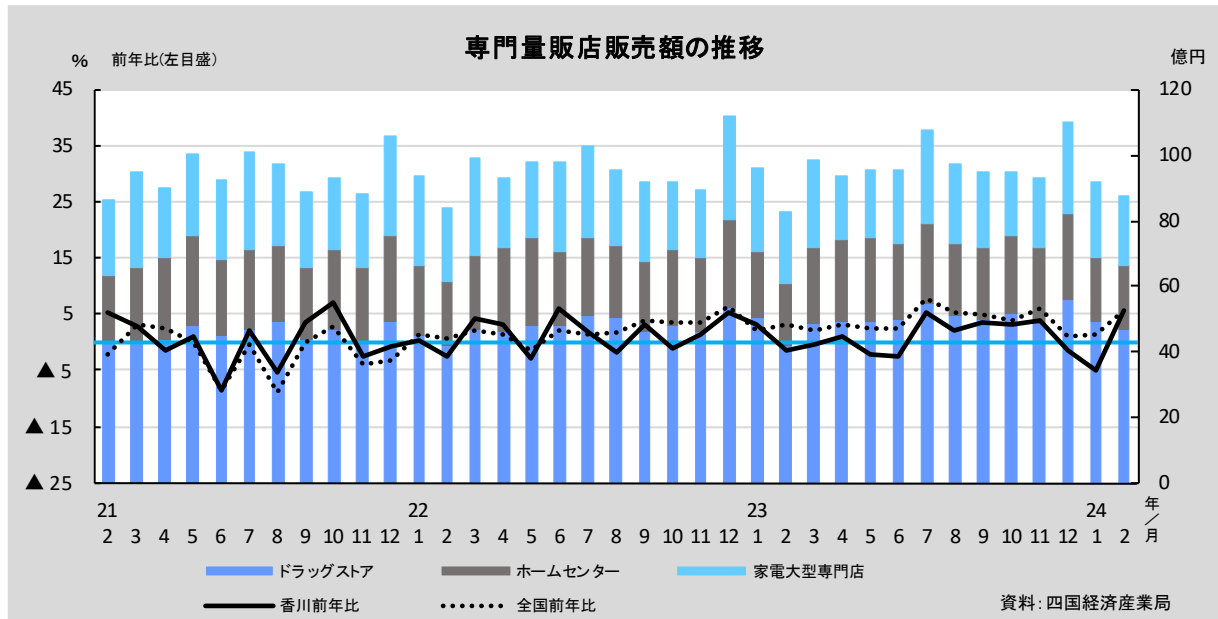
2 カ月連続増加 ↑



2月のコンビニエンスストア全店（401店）の販売額は59.6億円で、前年同月比+3.5%となった。物価高による商品価格の上昇や販売促進効果などで販売額が伸び、2カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

3カ月ぶり増加 ↑

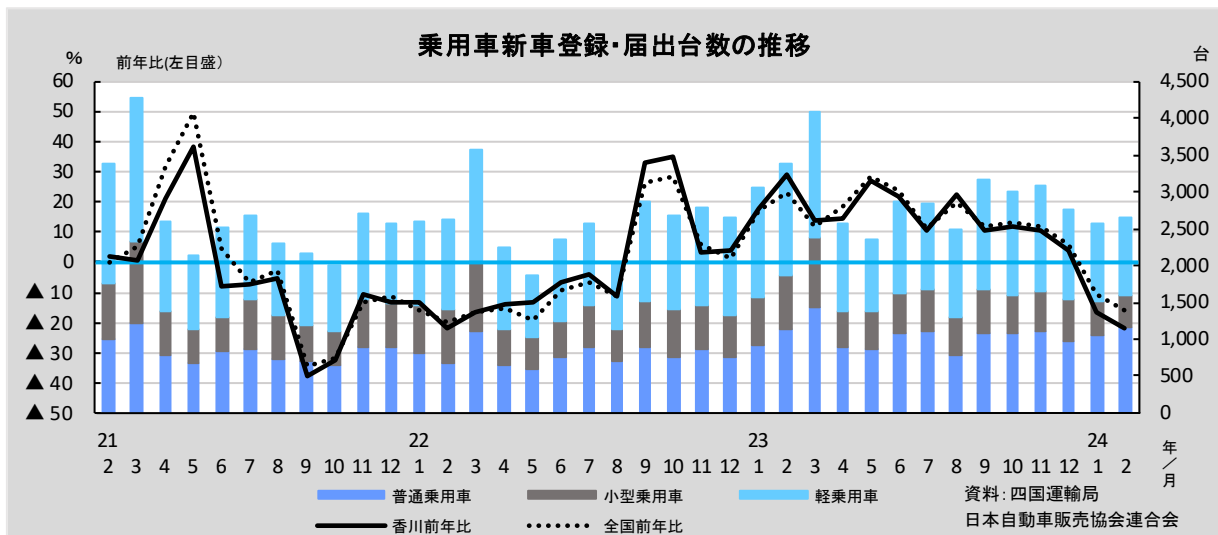


2月の専門量販店全店（217店）の販売額87.5億円で、前年同月比+5.5%と3カ月ぶりに増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、パソコンや暖房器具の動きが鈍く、21.2億円で前年同月比▲3.0%となった。**ドラッグストア**（142店）の販売額は、化粧品や飲料が伸び、46.6億円で同+10.6%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、日用消耗品などに値上げ前の駆け込み需要がみられ、19.7億円で同+4.1%となった。

●乗用車新車販売台数

2カ月連続減少 ↓



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,644台で、認証試験不正問題に伴う出荷停止が影響し、前年同月比▲22.2%と2カ月連続で減少した。

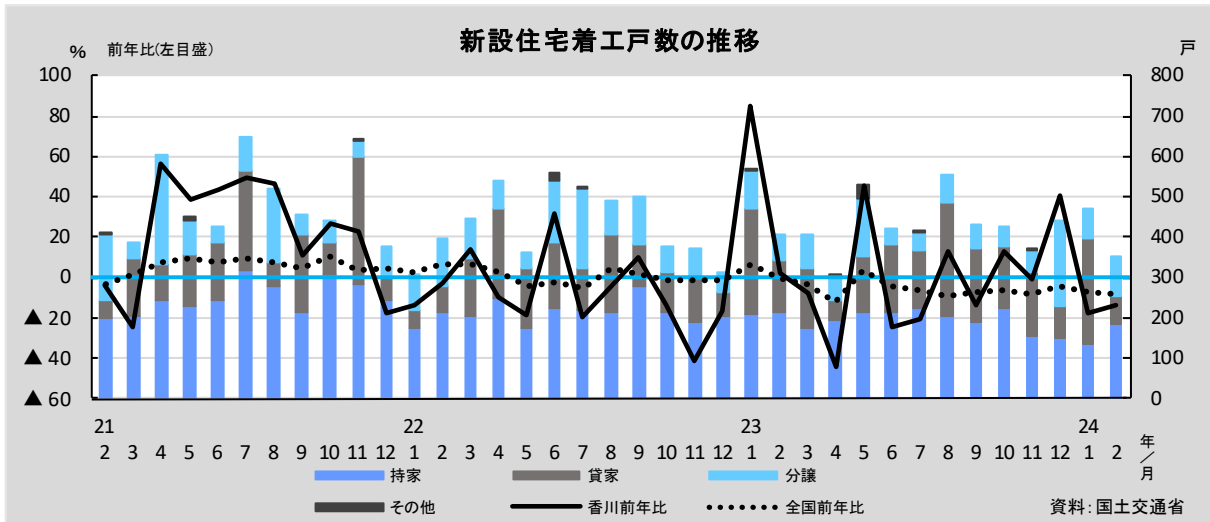
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+1.5%、小型乗用車は同▲38.3%、軽乗用車は同▲31.9%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2カ月連続減少 ↓



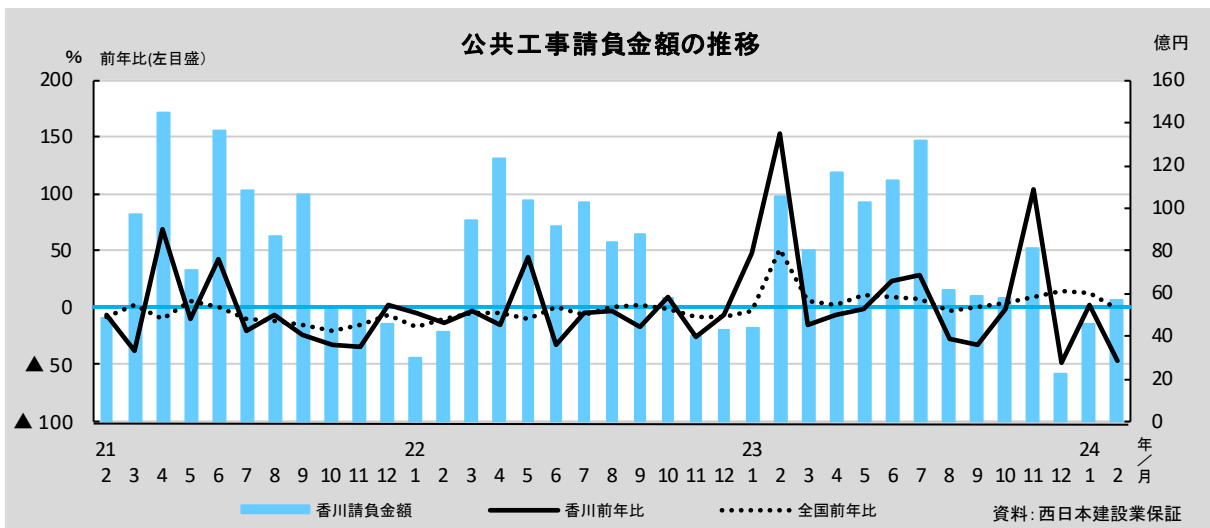
2月の新設住宅着工戸数は350戸で、前年同月比▲14.0%と2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲14.5%、**貸家**で同▲43.0%、**分譲住宅**で同+44.6%となった。

公共投資

持ち直しの動きに足踏みがみられる

●公共工事請負金額

2カ月ぶり減少 ↓



2月の公共工事請負金額は57.1億円で、前年同月比▲45.9%と2カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲47.3%、**県**で同▲40.1%、**市町**で同▲61.9%となった。

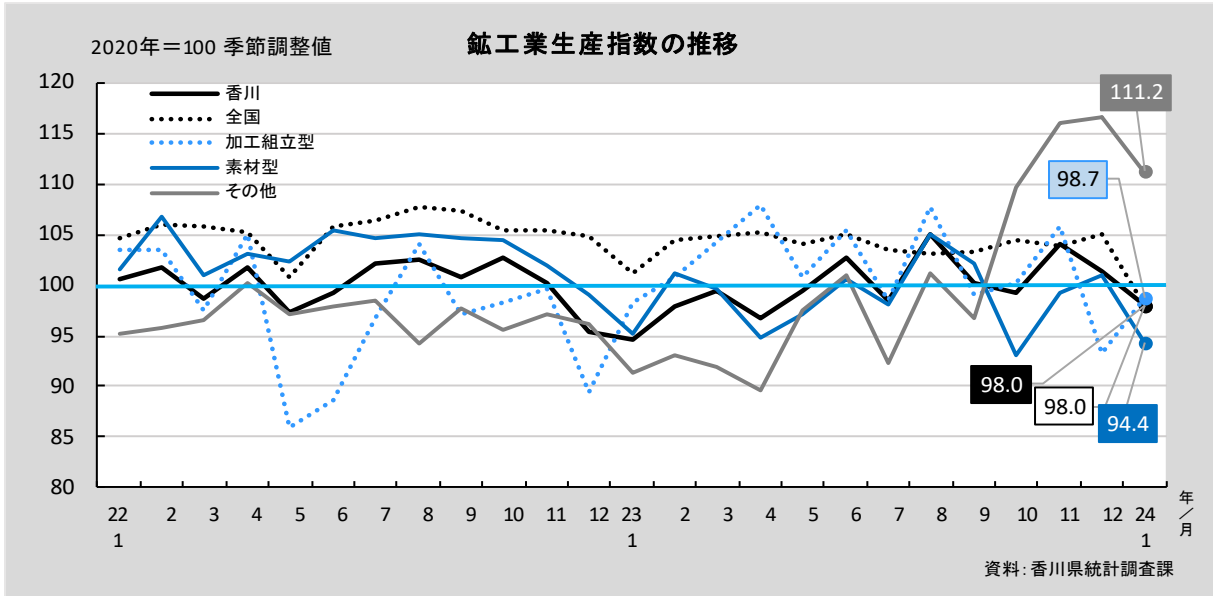
2023.4月～2024.2月の累計では前年同期比3.9%減少している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓



1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.0（前月101.3）となり、2カ月連続で低下した。

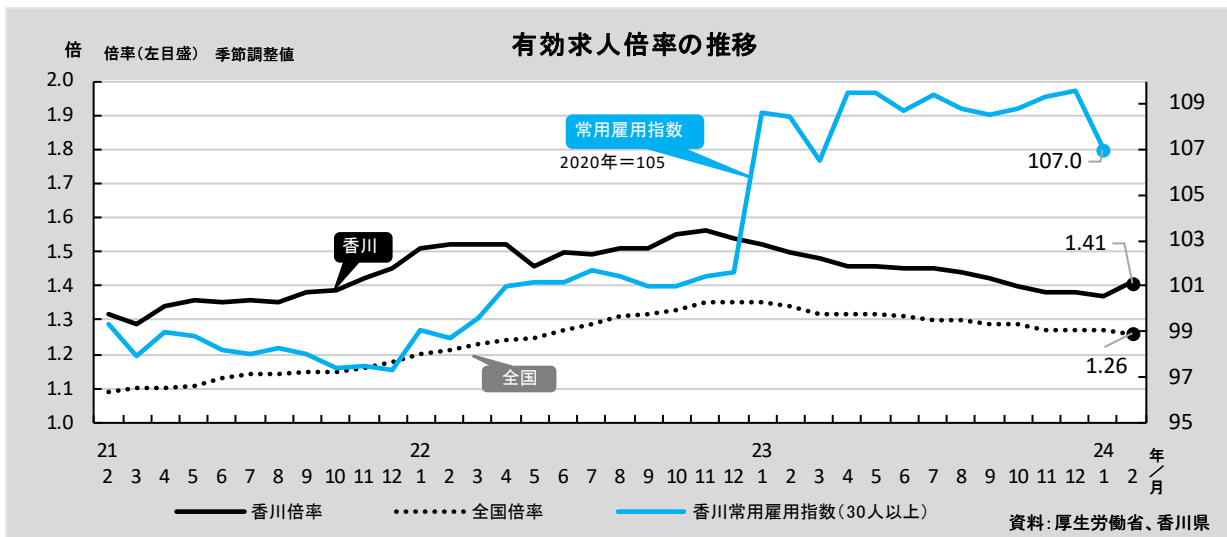
業種別では素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲16.1%、その他業種の食料品工業（肉・肉製品など）は同▲6.3%と低下した。一方、加工組立型の電気機械工業（高圧遮断器など）は同+15.7%と上昇した。

雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

● 有効求人倍率

2 カ月ぶり減少 ↓



2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.41倍（全国10位）となり前月より0.04ポイント上昇した。

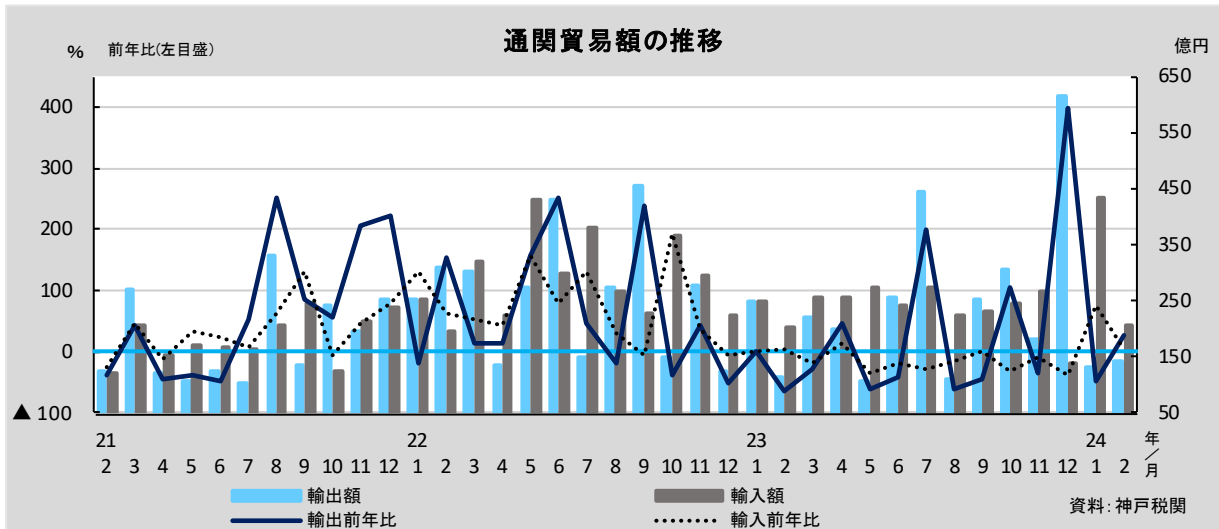
新規求人（原数値：前年同月比）は、宿泊業・飲食サービス業、サービス業（他に分類されないもの）、医療・福祉、情報通信業等で増加し、全体で+1.3%と9カ月ぶりに増加した。

1月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、107.0となり、前年同月比は23カ月ぶりに減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業従事者	2.47
事務従事者	0.75
販売従事者	2.58
サービス職業従事者	3.34
生産工程従事者	2.20
輸送・機械運転従事者	2.14
建設・採掘従事者	5.83
運搬・清掃・包装等従事者	1.25

貿易

輸出、輸入ともに増加している



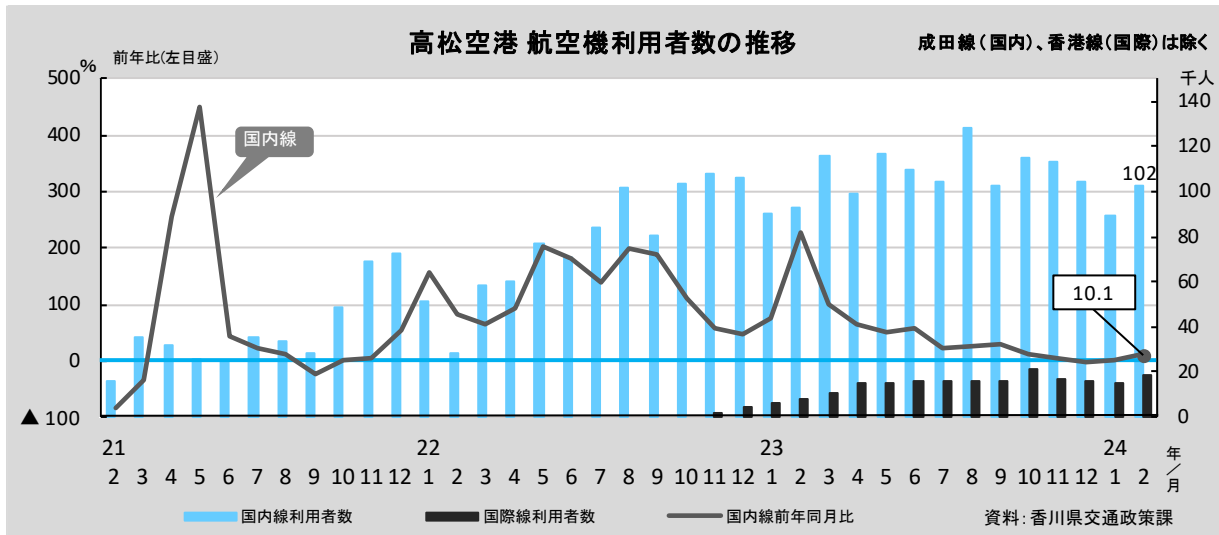
2月の輸出額は前年同月比+25.6%の141.7億円、輸入額は同+2.9%の206.6億円となり、差し引き64.9億円の入超となっている。

輸出は、前年同月ゼロだった貨物船輸出額が31億円となった。輸入は、石炭輸入額が前年同月比+15.5%の123億円となった。

交通

国内線は3カ月ぶり増加、国際線は好調

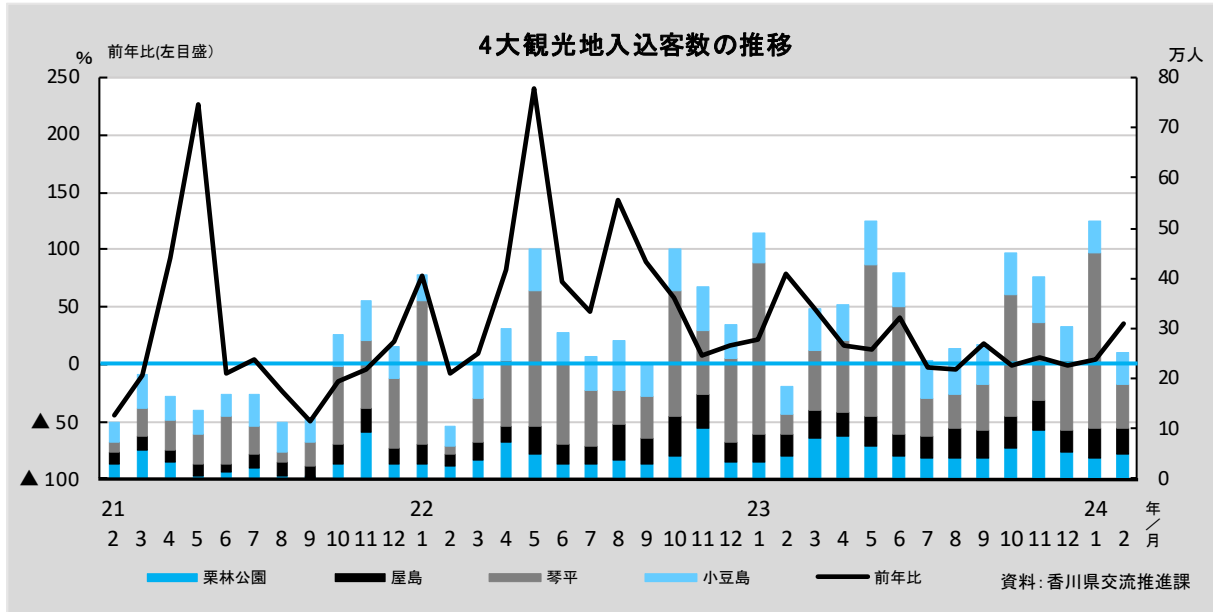
●高松空港旅客輸送実績



2月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が102,324人(前年同月比+10.1%)となり、3カ月ぶりに増加した。羽田線は93,360人(同+8.8%)、那覇線は8,964人(同+26.5%)となった。

国際線は、ソウル線10,715人、台北線7,504人で合計18,219人(前年同月比+125.9%)と増加した。

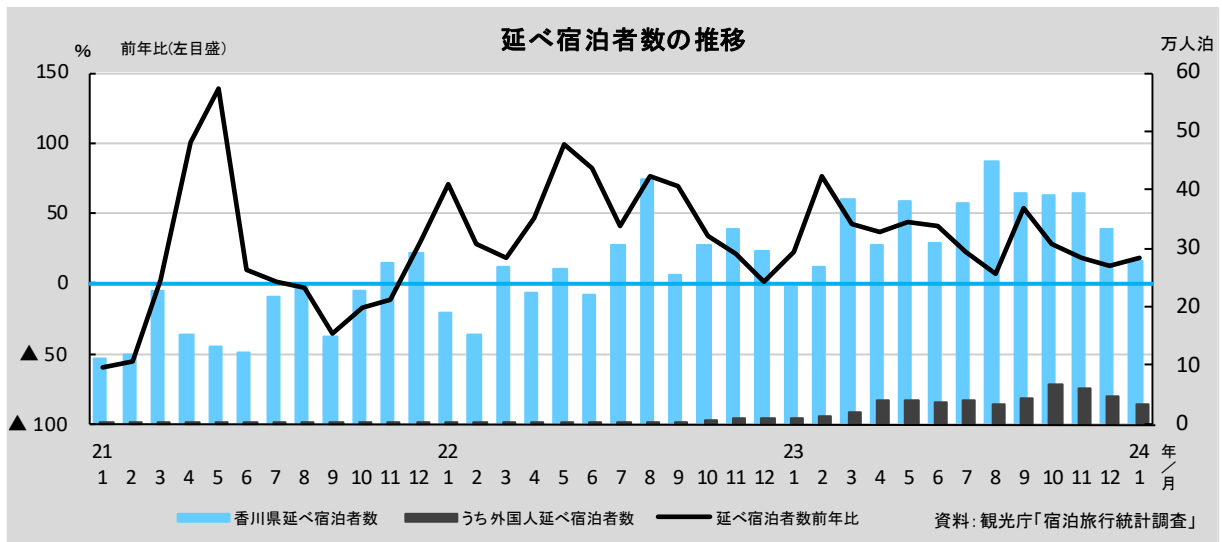
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
2月(人)	前年同月比	50,133	8.9%	52,102	17.3%	86,000	126.3%	63,308	10.4%	251,543	35.4%
1~2月累計(人)		92,246	15.9%	110,594	12.4%	436,000	13.8%	128,365	10.0%	767,205	13.2%

2月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+35.4%と2カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+8.9%、屋島は同+17.3%、琴平は同+126.3%、小豆島は同+10.4%と全て増加した。1~2月の累計では前年同期比+13.2%となった。

●延べ宿泊者数



1月の延べ宿泊者数は279,530人で、前年同月比+18.5%と26カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数31,760人となり、前年同月比+187.2%と18カ月連続で増加した。